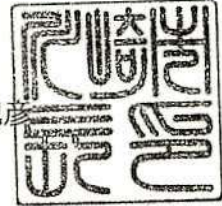


川崎市私道舗装助成金支給規則（昭和48年川崎市規則第34号）第4条第1項の規定により構造基準及び標準工事費を定めたので、同条第2項の規定により次のとおり告示します。

令和5年4月3日

川崎市長 福田 紀彦



令和5年度私道舗装助成金

1 舗装新設工事の構造基準及び標準工事費

構造			標準工事費 1㎡当り (円)	助成金の額 (円)	
表層	路盤	施工条件		両端が舗装された公道に接続している	一端が舗装された公道に接続していない
再生密粒度 厚4cm	RM-40 厚5cm	人力施工	12,100	10,890	9,680
再生密粒度 厚4cm	RM-40 厚5cm	機械施工	8,910	8,019	7,128

2 舗装補修工事の構造基準及び標準工事費

構造			標準工事費 1㎡当り (円)	助成金の額 (円)
表層	路盤	施工条件		
再生密粒度 厚4cm	—————	人力施工	12,540	8,778
再生密粒度 厚4cm	—————	機械施工	6,710	4,697

3 側溝等の付帯工事の構造基準及び標準工事費

種別	構造	標準工事費 (円)		助成金の額 (円)		
				舗装新設工事		舗装補修工事 いずれの場合も
				両端が舗装された公道に接続している	一端が舗装された公道に接続していない	
U形側溝工 (人土工)	240	1m当り	29,150	26,235	23,320	20,405
U形側溝工 (機械土工)	240	1m当り	23,430	21,087	18,744	16,401
U形用甲蓋架設	240・2種	1m当り	8,470	7,623	6,776	5,929
L形側溝工 (人土工)	250B	1m当り	28,490	25,641	22,792	19,943
L形側溝工 (機械土工)	250B	1m当り	24,530	22,077	19,624	17,171
取付管工	φ150	1m当り	58,300	52,470	46,640	40,810
地先境界石工 (人土工)	120	1m当り	23,100	20,790	18,480	16,170
地先境界石工 (機械土工)	120	1m当り	19,690	17,721	15,752	13,783
L形用集水柵工	300	1箇所当り	133,100	119,790	106,480	93,170
U形用集水柵工	400	1箇所当り	130,900	117,810	104,720	91,630
種別	構造	標準工事費 (円)		助成金の額 (円)		
手摺設置工	スチール製 h=800 2段	1m当り	59,300	41,510		

4 施工条件

- 施工幅2.4m未満のもので舗装面積300㎡未満の場合、施工幅が2.4m以上のもので舗装面積が200㎡未満の場合は人土工の単価とし、それ以外については機械施工の単価とします。
- 道路幅員3.0m未満の側溝工事等については人土工の単価とし、それ以外については機械土工の単価とします。
- 標準工事費には、土工等の工事に必要な工種の費用及び経費等が含まれているものとします。
- 側溝等の付帯工事の標準工事費は、側溝等の新設の費用を基準としています。
- 手摺設置工は階段補修工事の付帯工事としています。